

伊根浦舟屋群等保存会視察研修に来られる

冬に逆戻りした3月11日（木）、京都府伊根町から伊根浦舟屋群等保存会の方15名と職員の方2名が、小浜西組地区へ視察研修にこられました。

小浜西組町並み協議会から澤口会長はじめ5名と、小浜市文化遺産活用課から松澤主事が対応しました。

小浜公園に到着された伊根浦舟屋群等保存会の方に小浜西組地区の概要を説明して、全員で三丁町に向かって歩きました。

まず酔月では吹抜け天井をみんなで仰ぎ見て、帰り際に“坪庭の手入れがきれいに行き届いている”と口にされた方がおられたのが印象的でした。そして先日オープンしたばかりの町並み散策案内所へ立ち寄り、続いて丹後街道沿い（大原、浅間、鹿島）を散策しました。

散策中、特に鹿島区に多い井戸のマークにみなさんは興味を示され、井戸のマークの中の数字に感心したり、どういう意味があるのかと尋ねられたりしました。

また、“伊根町の場合は区画が整っていて、どこも間口の広さは同じだが、小浜は一軒ごとの間口の広さが違う”ということも散策中お聞きしました。

最後に町並み保存資料館に入って説明があった後、場所を若狭ふれあいセンターに移して意見交換を行いました。

意見交換会では当協議会から重伝建に選定されてから作ったマスタープランを中心に説明を行い、質問や意見をお受けしました。

一門一灯や空き家対策（同じような悩みをもっておられる）等について質問が



小浜公園で説明を受ける参加者



酔月の館内を見学



丹後街道添いを見学



見学後の意見交換会の様子

ありました。又、女性の方から“このマスタープランには観光という言葉が出てこない”と質問がありました。当協議会の石田副会長は“観光は第一に考えていない。地域住民が住みやすい町、子育てしやすい環境をつくることを目的としており、そして観光は後から付いてくるのがよい”と答えました。

2時間たらずの時間ではありましたが我々も伊根浦舟屋群等保存地区へ視察研修に行っているということもあり、親しみやすさを感じての散策となりました。格子があり、間口の狭い、奥行き長いこの町家を伊根浦舟屋群等保存会の皆様は堪能されたのではないかと思います。



「つる細工三人展」を終えて

滝野・山中・宮田

2月3日（水）から2月22日（月）までの間、私達三人の作品展を行わせていただきました。

その際には寒い中を近くから、遠方からと大勢の方に足を運んでいただきまして誠にありがとうございました。

私たち三人は、10年ほど前から散歩をしながら草花を摘んだり、つるを取ったりして楽しんできました。

先般、町並み保存資料館に立ち寄った際に、私達の作品もこんな所に置いてもらったらいいな・・・と三人が思ったことは同じでした。

11月に入り、つるを採取して、小浜の町並みと町並み保存資料館に合うように、華やかさ、優雅さ又遊び心を加えて制作しました。

期間中、町並み保存資料館にて、大勢の方と出会いお話をさせていただきました。熊川から来て下さった方の話では、“小浜にはまだこんなよいつるが残っている。熊川では芽が出ると動物が食べてつるにならない。又、高いフェンスが張っており山の中には入れない。”とのことでした。

小浜にはまだまだ自然がたくさん残っています。これからも自然とつるに元気をもたえそうです。

今回の出品の際には町並み協議会の役員の方や、町並み保存資料館の管理人の方には大変お世話になり、感謝しております。有難うございました。

ほんしょうじ

本承寺(大黒寺) (法華宗本門流 小浜市小浜浅間)



浅間区にある葦原山^{ろげんざん}本承寺は、大黒天が
お祀りされていることから大黒寺とも呼ば
れています。本承寺は永享^{だいくでら}9年(1437)
に日瑞上人^{えいきょう}が創建し、本山は京都本能寺で
す。もとは大宮の心光寺の場所にありまし
たが、寛永7年(1630)に現在の後瀬
山の北側山麓に移りました。

大黒天はインドではシバ神^{けしん}*の化身マハーカーラ(マハーは「大」、カーラは「黒」という
意味)で、荒々しい怒りの神でありましたが、日本においては
^{おおくにぬしのみこと}大国主命の大国と同じ音から七福神の一員となり福德や豊
かな収穫をもたらす神となりました。又、天・地・人を守る
ことから家の中心柱を大黒柱とよぶなど庶民に親しまれ
た神といえます。

大黒天立像の高さは60.5cmで、檜の寄せ木作りで室町
時代の制作と推定されています。昭和44年には小浜市の
文化財指定となっています。

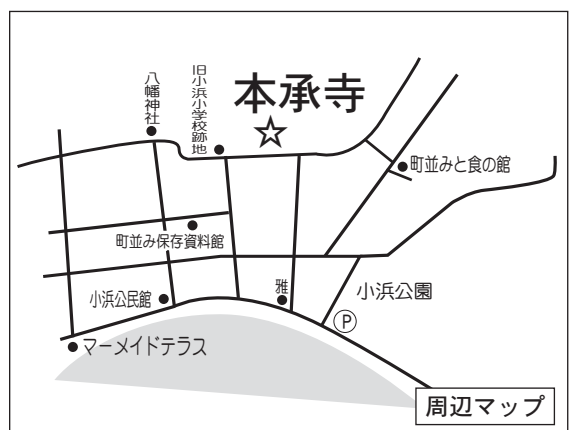
大黒天は本承寺の本堂に隣接する大黒堂の本尊でしたが、
本堂の改築に伴い、本堂内の大黒壇に安置されることになり
ました。

「昔、お寺の前の川に流れてくる木や枝を
拾い上げると、中には大黒さんの形をして
いる物があつたと聞いている」と39代目小
林^{しあう}事翁住職はにこやかに付け加えて話されま
した。

*シバ神=ヒンドゥー教三大神の一人。悪魔を打ち砕
き退治する「破壊と降伏の神」としての面と、信奉者
に恩寵を施す「恩愛の神」という面を併せ持った神。
ヒンドゥー教では熱心に幅広く崇拝されている。



木造大黒天立像
写真：本承寺提供



●活動報告とお知らせ●

飛鳥区に観光案内所開設

3月1日、飛鳥区(元・新美氏宅)に町並み協議会の事務所兼観光案内所、物品販売所が開設されました。責任者の大島顧問は「ギャラリーとしても活用していきたい。又、住民の皆さんの“よろず相談所”として利用してほしい。」と言っておられます。一度訪ねてみてください。



この程オープンした「丹後街道 町並み散策案内所」

企画運営部より

雛飾り展の期間中は多くの方に見学していただきました。3月2日(火)は雛段をバックに桃の節句の生花教室を行いました。翌3月3日(水)には『おあしす』に通所されている方々と職員さん13名が遊びに来てくださいました。



生花教室と雛飾り

ボランティアのお願い

市からの提案により5月22日(土)～6月20日(日)の1ヶ月間「**小浜ウエスト物語2010**」と題して、ギャラリー&コンサートを開催する予定です。市民の方に小浜西組重伝建地区に親しんでいただき、理解を深めていただくために行うものです。

内容については準備委員会で計画中ではありますが、期間中は町並み協議会の委員だけでは対応できませんので、事業に参加して頂ける方が必要となってきます。地域住民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

時間が変わります

4月1日から、町並み保存資料館の開館時間が **午前9時～午後5時** となります。